

令和6年度

財務諸表の概要

令和7年6月

国立研究開発法人土木研究所

目 次

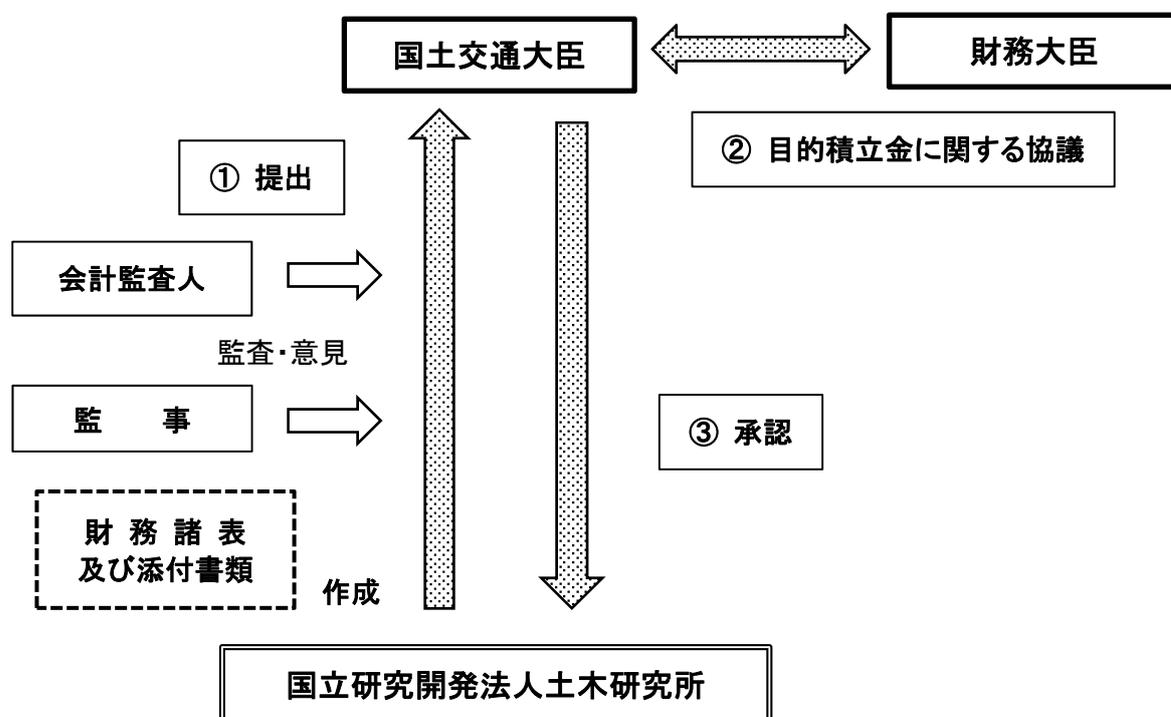
1. 財務諸表の作成及び監査 1
2. 令和6年度「財務諸表」の概要 2
3. 令和6年度決算の特記事項 3

1. 財務諸表の作成及び監査

独立行政法人は、毎事業年度、独立行政法人通則法第38条の規定に基づき、貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類その他主務省令で定める書類及びこれらの附属明細書(以下、「財務諸表」という。)を作成し、当該事業年度の終了後三ヶ月以内に主務大臣に提出し、その承認を受けなければならないこととされております。

また、独立行政法人は、財務諸表等について監事の監査のほか、会計監査人の監査を受けなければならない(同法第39条)とされており、土木研究所の令和6年度財務諸表等は国土交通大臣により会計監査人として選任された(同法第40条)「太陽有限責任監査法人」によって監査を受けております。

<財務諸表等の提出と承認に係る手続きの流れ>



<財務諸表等の構成>

財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表 ・行政コスト計算書 ・損益計算書 ・純資産変動計算書 ・キャッシュ・フロー計算書 ・利益の処分又は損失の処理に関する書類 ・附属明細書
財務諸表の添付書類	<ul style="list-style-type: none"> ・決算報告書 ・事業報告書

2. 令和6年度「財務諸表」の概要

(単位:百万円)

□貸借対照表

⇒令和6年度末における「財政状態」を表す書類

資産	46,144	負債	13,885
		流動負債	7,849
流動資産	10,523		
預金	6,372	固定負債	6,036
その他	4,151		
		純資産	32,260
固定資産	35,622		
有形	31,066	負債純資産合計	
無形	113		46,145
その他	4,442		

□行政コスト計算書

⇒令和6年度の「成果を生み出すために法人内で要したコスト」を表す書類

損益計算書上の費用	11,087
経常費用	11,086
臨時損失	1
その他行政コスト	1,042
行政コスト	12,129

□損益計算書

⇒令和6年度の「運営状況」を表す書類

経常費用	11,086	経常収益	11,455
臨時損失	1	臨時利益	1
		積立金取崩額	1
当期総利益	371		

□純資産変動計算書

⇒令和6年度の「純資産変動」を表す書類

当期首残高	32,141
当期変動額	119
資本剰余金	791
その他行政コスト	△1,042
当期純利益	370
当期末残高	32,260

□キャッシュ・フロー計算書

⇒令和6年度の「現金の収支」を表す書類

業務活動におけるキャッシュ・フロー	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277
資金増加額	69
資金期首残高	6,303
資金期末残高	6,372

□利益の処分に関する書類(案)

I 当期未処分利益	
当期総利益	371
II 利益処分額	
積立金	371

(注) 単位未満を四捨五入しているため合計額が一致しない場合があります。

3. 令和6年度決算の特記事項

(1) 運営費交付金

土木研究所の業務運営の財源として国から運営費交付金が交付されております。運営費交付金は、渡しきりの資金として措置されるものであり、原則として独立行政法人が自由に使えるものです。

令和6年度においては、当期交付額11,047百万円に対して、当期の収益への振替額は10,646百万円となっております。

その内訳は次のとおりです。

・人件費(法定福利費等を含む)	4,341 百万円
・研究業務費	4,835 百万円
・引当金見返との相殺	464 百万円
・一般管理費	407 百万円
・固定資産	599 百万円

(2) 施設整備費補助金

土木研究所の建物の改修、研究設備等の新設・改修のために、国から施設整備費補助金の交付を受けています。

令和6年度においては、1,180百万円(R5年度繰越1,025百万円を含む)の交付を受けました。

施設整備費補助金で整備した主な施設は次のとおりです。

・苫小牧寒地試験道路保安施設設置(R5年度繰越)	209 百万円
・暴露実験場改修(R5年度繰越)	60 百万円
・1000kN 疲労試験機水平載荷用治具、載荷台改修(R5年度繰越)	92 百万円
・三次元大型振動台サーボバルブ、熱交換器更新(R5年度繰越)	122 百万円
・部材耐震強度実験施設油圧源室クーリングタワー、オイルクーラー更新(R5年度繰越)	84 百万円
・大型動的遠心力載荷試験装置回転腕部潤滑装置、作動油更新(R5年度繰越)	80 百万円
・移動式舗装たわみ測定装置(MWD)更新(R5年度繰越)	169 百万円
・自動運転対応型振動ローラ、クローラダンプ整備(R5年度繰越)	139 百万円
・実験棟直流電源装置更新(R5年度繰越)	71 百万円
・自動細胞解析分取装置更新	38 百万円
・実験棟照明設備更新	7 百万円
・角山実験場小型実験棟設備改修	109 百万円

(3) 自己収入

土木研究所は、受託研究、土木技術に関する指導・成果の普及、特許権実施許諾及び財産の貸付等により自己収入を得ています。

令和6年度における自己収入は、658百万円であり主な内訳は次のとおりです。

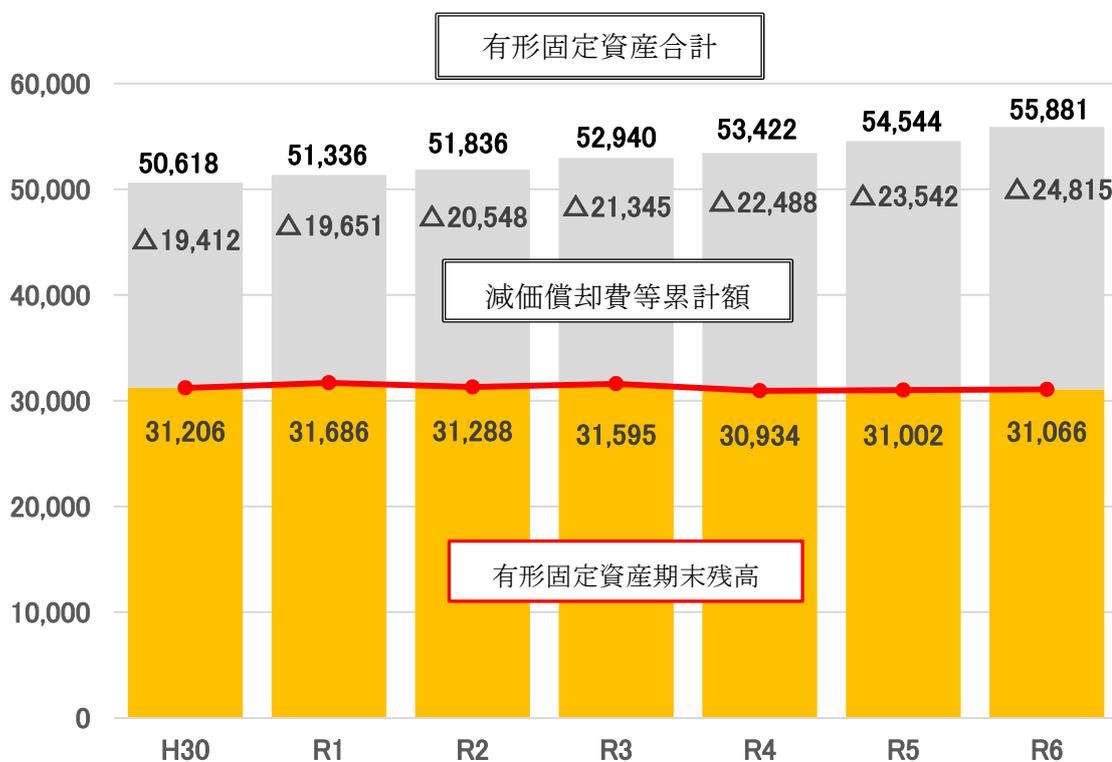
・受託収入	538 百万円
・財産賃貸収入	89 百万円
・知的所有権収入	19 百万円
・技術指導等収入	7 百万円
・その他事業収入	5 百万円

(4) 固定資産の状況

固定資産は、運営費交付金及び施設整備費補助金により着実に整備、更新しております。

令和6年度末の有形固定資産残高としては、31,066百万円となっております。

<有形固定資産の推移>



(注) 単位未満を四捨五入しているため合計額が一致しない場合があります。